

# あなたと議会

◆題字書写りレー!! 今号は鹿沼商工高等学校の渡部真生さんが揮ごうしました

**特集**

**5つの地区と4つの高校で  
意見交換会を行いました!**

2023  
223号  
2月24日発行

市政を問う  
12月定例会の結果



沢山のご意見をいただくことができました!

～5つの地区と4つの高校での意見交換会の様子～

～もっと「議会」を身近に～

## 特集 議会報告会・意見交換会

市議会では、地域住民の皆さんと直接対話をさせていただくため、各地区で議会報告会・意見交換会を開催しています。新型コロナウイルス感染症の感染状況は日々変化しているところですが、地元自治会の意向を伺いながら、昨年11月は5地区で開催することができました。今回は、5地区で開催した中でいただいた内容の一部をご紹介します。

### ■野生鳥獣の被害について

- ・シカ、たぬきがものすごく増えている。交通事故の原因にもなっている。対策を進めて解決してほしい。
- ・荒れ放題の里山を整備すれば、鳥獣被害も減る。
- ・鳥獣被害で農作物が作れない状況。駆除できる人がいないので対策を。
- ・不耕作地（休耕地）が広がっており、タヌキの住かになっている。市は生きているものは引き取ってくれないが、殺すのは難しい。

### ■農業支援について

- ・物価の高騰が深刻で、支援をお願いしたい。これが続くと、小規模農家は辞めてしまおうし、耕作放棄地になってしまう。
- ・退職起業者のような、小規模農家に対する支援も検討してほしい。

### 地区別参加者数

開催地区	開催日	参加者数
北犬飼	11月7日	51人
中央	11月8日	42人
栗野	11月10日	9人
南押原	11月11日	31人
東部台	11月14日	11人
合計	5地区	144人

高校生の本音を聴いてきました！

## 特集 高校生との意見交換会

この会は6年前の選挙権年齢引き下げを機に始まり、毎年恒例となっています。今回は、議会が提示した10個のテーマの中から、高校生が選んだテーマで意見交換をしました。日常生活で感じていること、鹿沼市議会や鹿沼市に提案したいことなど、高校生の考えを聞き、また、議員の考えを伝えることで、活発な意見交換となりました。高校生ならではのストレートな意見について、主なものをテーマごとにご紹介します。

### 部活動や校則等学校生活全般に関する意見

#### 部活動について

- 外の部活動は、冬は暗くなるのが早くて見づらくて怖い。
- 屋外運動場をタータン（ラバー製）にする。
- 壊れている設備などを直してほしい。

#### 校則や学校生活について

- 校則と破ったときのペナルティを明確にしてほしい。
- 登下校時の防寒着を指定なしにしてほしい。
- 平日のアルバイト禁止が困る。
- 私はスラックスで過ごしているが、いままで全部の学校でスカートを一旦買わされてきた。

### 【令和4年度開催実績】

開催日	学校名	参加生徒数
11月8日	鹿沼商工高等学校	13人
11月15日	鹿沼高等学校	16人
11月17日	鹿沼南高等学校	22人
11月18日	鹿沼東高等学校	19人

## 子育て・少子化対策について

- ・いちごっこ広場のような支援施設を増やした方がいい。子育てに優しいまちとして支援を拡充してほしい。

## 地域活性化について

- ・地域には地域の素晴らしい良さがあるのに、中心から離れた地域は忘れられがちな面がある。それぞれの地域を盛り上げていくような提言を加えてほしい。
- ・中央地区にあまり施設がない。プロジェクトなどをつくって筋道をつけてほしい。
- ・新鹿沼駅前はお茶を飲む場所すらない。高校生が多く利用するので意見を聞いてもらいたい。
- ・茂呂山をいろいろな面で活用してほしい。展望台も再生できるように前向きに取り組んでほしい。

## 交通施策について

- ・予約バスは使い勝手が悪く、利用率もかなり低い。今後発展の見込まれる北犬飼、東部台地区の交通アクセスについて今後の取り組みをどう考えているか。
- ・JRの赤字路線の廃止、リーバス、デマンドバス、新駅、LRTの鹿沼までの延伸も含めて検討してほしい。

## 防災について

- ・防災無線が廃止になり、インフォカナルやメールで防災情報を確認できるようにするが、高齢者への対応が難しい。
- ・避難に対する認識の違いにより逃げ遅れた方がいる。危機感を持ってもらうためにも、情報を早めに数多く発信して欲しい。
- ・避難所に向かう途中で橋を渡らなければならぬ。山間地での安全な避難所についてはこれからの課題。

## 川遊び客対策について

- ・「ここは最大水深何m」と実物を見て分かるような表示をし、防災意識を高められるようにしてほしいか。
- ・用水路が古くなっていて、近年の災害でも被害を受けている。河川の対策をお願いしたい。

## 自治会について

- ・アウトドアが盛んになっていて、川でバーベキューをする方が増えている。ごみや火の始末がきちんとされているのか心配である。
- ・高齢化が進み、役を引き受けることが大変だということで組内（自治会）を抜ける方が増えている。なるべく会員を減らさないため

コロナ禍で学校行事や街のイベントが制限されてきたことや、ワクチン接種・マスク着用に関する意見

## ワクチン接種について

- ワクチン接種の日程を家族の休みの日と合わせるのが大変だった。
- 受験のことを考えると、副反応のリスクもあるがワクチンを打たなければならぬ。

## 学校行事やイベントについて

- 学校行事や街のイベントを再開してほしいが、コロナがまた増えてしまうのは不安。
- 行事等を中止にするのではなく、規模を小さくしたり、代わりのものを行ってほしい。
- イベントが中止になったことで鹿沼市の魅力を発揮できず観光客が減少している。

## マスク着用について

- 表情が読み取りにくくコミュニケーションが難しい。
- マスク着用をしていたため、昨年はインフルエンザの拡大を免れた。
- コロナが落ち着いてもマスクは外したくない。

駅周辺の活性化・高校生の居場所・学習スペースに関する意見

## 駅周辺の活性化について

- 駅周辺で地域の歴史や特色を生かしたイベントを開催する。
- バスの増便やレンタサイクルの導入など、便利に移動できる交通手段がほしい。
- 駅内に多くのベンチを設置してほしい。駅周辺にも屋根付きのベンチが欲しい。
- 周辺道路の街灯を増やす。

## 高校生の居場所について

- 電車通学の人のために、徒歩圏に居場所がほしい。
- 駅周辺に大きな公園がほしい。
- 娯楽施設が少ないため、特定の場所に密集してしまおう。
- 大型ショッピングモールを誘致してほしい。

## 学習スペースについて

- 気軽に勉強できるような場所を設けてほしい。
- 図書館以外にも無料で利用できる学習スペースがほしい。
- 電車待ち時間の有効活用のため、駅周辺に放課後学習できるスペースを作る。

に、良い案、考えはないか。  
 ・学校運営協議会で地域と交流する機会を増やし、多世代の交流を深めていくことができれば、自治会の脱会防止につながるのではないかと。

### ■道路・交通について

・さつきロードを無償化してほしいという声が上がっている。  
 ・圃場整備事業が完了し道路が舗装されたが、砂利のままな道路が残っていて残念。できる限り舗装してほしい。  
 ・壬生に工場が出来てから、市外からくる車が特にスピードを落とさないのでも危険に感じる。学校が近いのでスクールバスは出ないと思うが、事故が起こる前に何か対策はできないか。

### ■秋祭り・彫刻屋台について

・秋祭りを存続するために、地元の人に参加するような仕組みをどう考えているか。  
 ・新鹿沼駅前の活性化として、彫刻屋台の活用などをお願いしたい。

### ■地域のチカラ活性化について

・広報かぬまに各団体やイベントを紹介するスペースを1ページでいいので作ってほしい。老人クラブ

に携わっていて、広報かぬまに案内したい内容がある。

### ■議会について

・議会の動画がいつも同じカメラ位置で見飽きてしまうので工夫できないか。議員の言葉使いも気を付けてほしい。  
 ・祝祭に行くことは良いが、報告があるだけで鹿沼市にどう反映されているかがわからない。  
 ・会派ごとの要望ではなく、組織横断的に、議員立法という明確な形で施策の提案を行うべきではないか。



### ICT教育に関する意見

●タブレットがあっても使う授業が少ない。  
 ●タブレットと教科書を持って行くため、荷物が重い。  
 ●学級閉鎖の時や不登校の人のためにも、オンライン授業・授業の配信をしてほしい。  
 ●ICT教育を推進する指導者を増やす。

### いじめの撲滅、不登校支援に関する意見

#### いじめ撲滅について

●大事にしたくないので、親や大人には相談できない。  
 ●SNSのトラブルが原因によるいじめが増加している。  
 ●もっと重い刑罰にすべきだと思う。  
 ●ネットで相談できる窓口をつくる。

#### 不登校支援について

●高校でも保健室登校できるようにしてほしい。  
 ●自分から相談しにくいので、担任の先生との面談を定期的に行うようにする。  
 ●大学生など、年齢の近い人と交流し相談できる場を設ける。

### フードロスの削減に関する意見

●賞味期限が短いものを意識して買う。(てまえどり)  
 ●出かける前に冷蔵庫の中の食材の写真を撮っておく。  
 ●野菜の皮やへたなど、茹でて出汁として使用する。  
 ●賞味期限と消費期限の違いをポスターなどで知らせる。  
 ●フードバンクの活用促進を含めた市の取り組みを強化する。  
 ●牛乳など廃棄される可能性が高い食品の大量消費レシピを考案する。

### 自転車のヘルメット着用に関する意見

●中学までは我慢して着けていたので、高校では着けたくない。  
 ●ヘルメットを着用しなかった場合の怖さを知らない。  
 ●おしゃれでかわいいヘルメットなら着けたいと思う。  
 ●ヘルメットが必要ないような環境を整備する。



一般質問の  
動画はこちら

## 大貫 桂一 議員



### 地域経済の活性化について伺う

#### 質問

令和4年第2回定例会で新たな産業団地造成について質問した際、「鹿沼インター産業団地の販売状況を確認しながら、検討をする」との答弁でした。その後の検討内容と今後のスケジュールについて伺います。

#### 答 弁(市長)

候補地の選定作業に着手するとともに、事業手法等について検討していきます。

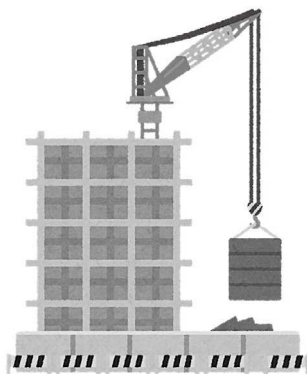
現在整備を進めている鹿沼インター産業団地は、本年10月に第1期の予約分譲を開始し、2社が内定されました。さらに、第2期予約分譲の区画も、既に県外・

県内合わせて問い合わせがきている状況であり、早期に完売できるものと考えています。検討内容と今後のスケジュールについて、産業団地の整備には計画から造成まで長期間を要しますので、新たな産業団地の整備に向けて早急に作業を始める必要があると考えています。令和5年度は、次の整備に向けた候補地の選定作業に着手するとともに、事業手法や関係法令との整合性について検討していきます。あわせて、以前から課題となっている工業専用地域のあり方についても整理をしながら、本市の高いポテンシャルを最大限生かせるような新たな土地利用と、産業団地整備を目指していきます。

#### ◆その他の質問事項

○給水区域外の飲料水の確保に対する支援について

○地域防災力の強化について



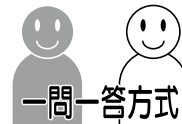
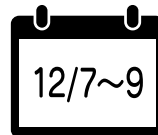
# 市政を問う



← 議員紹介はこちらからどうぞ。  
各質問議員のQRコードからは、それぞれの一般質問の動画をご覧ください。

### 第4回定例会で13人が登壇 鹿沼市政について質問をしました。

各議員の記事の「質問」の文章は、  
議員本人が作成しました。





一般質問の  
動画はこちら

## 阿部 秀実 議員



### 高齢福祉行政について伺う

質問

高齢者が元気に活躍し、地域で安全に暮らすためにも、耳が聞こえにくくなった高齢者が、我慢することなく補聴器を買えるよう購入補助制度を導入してはどうか。認知症対策にもなり、それだけでも導入の価値があるのではないかと。

答 弁(保健福祉部長)

認知症予防対策として新たに補聴器購入補助を令和5年度から事業実施することで準備を進めています。

補聴器購入補助について、6月議会において阿部議員の質問に答えたとおり、補聴器の利用は、認知症予防や要介護状

態への進行の予防につながる効果があるものと考えています。本市では、急速な高齢化の進展に対し、限りある財源の中で必要な支援が必要な人に届くよう、在宅高齢者に対する支援制度の再編を進めているところですが、その中で、認知症予防対策として新たに補聴器購入補助を令和5年度から事業実施することで準備を進めています。「どういった方を対象にするか」、「補助上限の設定をどうするか」などの検討課題がありますが、困っている方に支援が届くような制度にするよう議論しながら、現在、内容の精査を行っているところですが、



一般質問の  
動画はこちら

## 加藤美智子 議員



### 環境クリーンセンター家庭ごみについて伺う

質問

10月から分別区分が変わり、特に危険ゴミの分別表の分かりづらさが目立った。誰が見ても分かりやすい表記にする考えはないか伺う。

答 弁(環境部長)

追加作成する時などに、わかりやすい表現になるよう内容の検討を行い、修正をしていきます。

分かりやすい表記にする考えについて、危険ごみの分け方・出し方については、議員のご指摘を含め、以前からわかりづらいというご意見をいただいています。そのため、広報かぬまの10月号で危険ごみの出し方だけの記事を掲載し、さ

らに9月末の無償ごみ袋引換券の全戸配布にあわせて、10月からの変更点のチラシを同封し、その中で改めて危険ごみの品目ごとの出し方について周知を行っています。また、危険ごみについては、間違った分別であっても、一定期間は回収を行うように収集業者に指示をしており、ステーションには分別に間違いがある旨の注意のお知らせを張ることで改善を図っていきます。ごみの分け方・出し方のパンフレットの表記については、現在ある在庫や追加作成する際にわかりやすい表現になるよう内容の検討を行い、修正をしていきます。

#### ◆その他の質問事項

- 児童・生徒・若者の現状について
- 文化芸術事業について



#### ◆その他の質問事項

- 議案第103号 鹿沼市学校給食共同調理場条例の一部改正について
- 鹿沼市地域公共交通について
- 物価高騰に対する支援について
- ヤオハンいちごパーク(鹿沼運動公園)について



一般質問の  
動画はこちら



関口 正一 議員

農業振興について伺う

質問

農業関連補助金について、「どういった補助金があるか分からない」という声を聞きますが、農業経営を支援する補助制度について伺います。

答 弁(市長)

国・県・市では様々な対策を実施しており、その一つとして、資金面を補助することで支援をしています。

農業経営を支援する補助制度について、農業を取り巻く環境は、高齢化や後継者不在による担い手不足、農業所得の低下や資材・肥料の高騰など課題が山積んでいます。国・県・市では、課題に対

して様々な対策を実施しており、補助事業はその一つとして、資金面を補助することで農業者の経営を支援するものがあります。代表的な補助事業として、国の制度では、新規就農者の経営開始に関する費用補助、あるいは、大規模農家への農地集積に対する補助などがあり、県の制度では、生産性向上のための高性能機器の導入費用補助などがあります。本市の制度としては、イチゴ・ニラの研修修了者が就農する際の施設整備費や、減農薬による安全安心な農作物生産のための費用、和牛肥育農家の子牛購入費や、水路などの農業用施設の改修費用の一部を補助しています。

◆その他の質問事項

- 農業委員会について
- 環境クリーンセンターについて



一般質問の  
動画はこちら



鈴木 敏雄 議員

保育行政について伺う

質問

保育園における給食について、公立保育園での主食(御飯)の提供の考えを伺います。

答 弁(ごも未来部長)

主食の提供が行えるよう、課題解消に向けて検討を進めていきます。

公立保育園での主食の提供について、現在は、3歳児以上の園児につきましては、副食のみを提供し、主食は家庭から持参していただいています。温かい米飯を提供することは、食育を推進する上でも意義のあることとの考えから、公立保育園での主食を提供する際の検証を行うため、南保育園と南ま保育園において

モデル事業を実施し、調理や配膳手順、人員配置、設備等の確認を行いました。保護者アンケートでは、主食提供を「希望する」「どちらかと言えば希望する」との回答は84.4%であり、多数の保護者が希望している状況でした。職員へのヒアリング調査では、炊飯や配膳において大きな課題はありませんでしたが、副食の献立によつては保育士のサポートが必要となった日もあり、調理員配置や、調理設備の追加等を望む意見がありました。これらの結果を踏まえ、まずはモデル事業を実施した園から主食の提供が行えるよう、課題解消に向けて検討を進めていきます。

◆その他の質問事項

- 新型コロナウイルス感染症について
- 予算編成について
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について





一般質問の  
動画はこちら

## 鯨原 一男 議員



### 令和4年9月21日決算特別委員会での佐藤市長発言を令和4年9月26日佐藤市長が本会議で撤回し謝罪した件について伺う

質問

規則では発言通告を提出しなければならぬ。通告のない委員の発言は例外的に認められる。と承知していた市長の言動と、議長宛書状で本会議における発言の取扱いに準じて発言通告の徹底をお願いし続けていることについて伺う。

答 弁(市長)

円滑な委員会の進行のためにも、発言通告書の提出の徹底を議長に要望したものです。

市議会の会議規則の解釈の違いについては、「私が解釈を間違っております」ということで、率直に謝罪をしました。



一般質問の  
動画はこちら

## 橋本 修 議員



### 新田橋及び藤江町の道路整備状況について伺う

質問

新田橋は現在工事中ですが、いつ頃完成するのか、予定を伺います。また、周辺道路の整備状況について伺います。

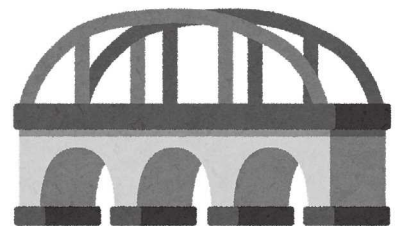
答 弁(都市建設部長)

国庫補助等の財源を確保しながら、令和8年度の供用開始を目指してまいります。

新田橋について、本橋を含む本路線の改良は、平成29年度より、事業に着手しており、令和2年度から橋梁工事に着手し、令和4年度末には橋台や橋脚などの下部工が完了する予定です。令和5年度は、橋梁への取り付け部分の築造、令和6年度からは、橋梁上部工を行い、令和

8年度の供用開始を目指しています。今後も国庫補助等の財源を確保しながら、早期完成を目指してまいります。周辺道路の整備状況については、新田橋の周辺道路は、藤江町地内圃場整備事業により整備され、市道49路線、総延長は約15キロメートルです。そのうち、これまでに地元土地改良区との協議により、約9キロメートルの舗装整備を行っています。今後についても地元自治会、土地改良区からの要望をもとに、周辺の土地利用状況を勘案し、順次、舗装整備を実施していきたく考えています。

発言通告の徹底をお願いし続けていることについては、鯨原一男議員が事前の会議で決めた申し合わせを意図的に無視していると捉えて、そのことをもって正常ではないと申し上げ、円滑な委員会の進行のためにも、執行部が短時間に適切でわかりやすい答弁を行えるよう発言通告書の提出の徹底を議長に要望したものです。



◆その他の質問事項

- 不登校の子ども達の対応について
- 中学校の部活動について
- ザランタン鹿沼について
- 災害時の避難について



漏水と思われる工事箇所  
(北村地区)

◆その他の質問事項

- リーバス・予約バスにおける運賃形態の見直しについて
- 上粕尾・北村地区の市民が、安心して安定した生活用水を確保し続けられることについて
- ヒトラーを例とした令和2年3月4日(水)と令和4年3月9日(水)の一般質問での発言について





一般質問の  
動画はこちら

## 鈴木 毅 議員



### 当市の行政行為について伺う

質 問

市の道路における物損事故や怪我をした場合に、道路の管理瑕疵が一般市民に認知されていないことで泣き寝入り状態となっている。市に対してどんな損害賠償の請求をしてもらいたいが、市民への周知方法を伺う。

答 弁(都市建設部長)

事故と管理瑕疵の因果関係は状況により様々で、広く一般に周知するのは難しいと考えられます。

「道路の管理瑕疵」とは、道路の維持、または修繕の務めを道路管理者が果たさなかった状態であり、具体的には、道路の損傷や路上障害物などの放置などが挙

げられます。事故に際しての管理瑕疵の有無や過失割合は、道路の地理的条件、構造、利用状況など、様々な諸条件を総合的に考慮し、事故ごとに個別に判断するものです。過去10年間の事故で最も多いケースは、舗装の穴によるタイヤのパンクですが、市の過失割合については3割5分から8割の範囲と、大きく開きがあります。また、同様の舗装の穴による事故でも管理瑕疵が問われず、過失割合がゼロとなった判例もあり、事故と管理瑕疵の因果関係は状況により様々で、広く一般に周知するのは難しいと考えられます。

#### ◆その他の質問事項

○当市の街づくりについて



一般質問の  
動画はこちら

## 石川 さやか 議員



### ICT教育の充実について伺う

質 問

新型コロナウイルス禍における児童生徒の学びの保障について、小中学校でオンライン授業が実施できた割合と、実施できなかった理由について伺います。また、教職員、児童生徒、保護者からの意見の集約状況について伺います。

答 弁(教育長)

活用状況や課題、児童生徒の情報活用能力の状況等を把握し、結果を各学校に共有していきます。

オンライン授業の実施について、学年・学級閉鎖となった際に実施した割合は、小中学校全体で61%、濃厚接触等で登校できない児童生徒へ実施した割合は、小

中学校全体で71%です。また、不登校の児童生徒へ実施した割合は、小中学校全体で54%です。実施できなかった理由については、「個々の状況に応じた細かい支援が必要である」「本人がオンライン授業を望まない」「登校の必要性を感じられなくなってしまうことへの懸念」等がありました。意見の集約状況について、昨年度末に、教員及び児童生徒を対象に調査を実施して、タブレットの活用状況や課題、児童生徒の情報活用能力の状況等を把握し、その結果を各学校に共有しています。保護者への調査は行っていませんが、今後、家庭での持ち帰り活用の推進に向け、必要に応じて実施を検討していきます。

#### ◆その他の質問事項

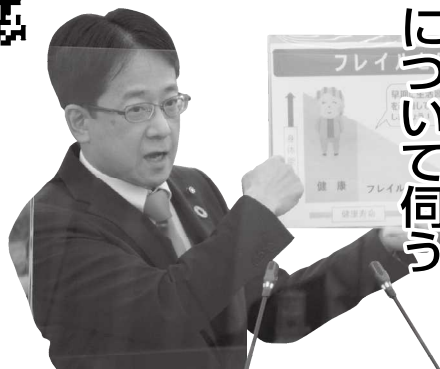
○子育て環境の充実について  
○ひとり親家庭の子育て支援について





一般質問の  
動画はこちら

## 梶原 隆 議員



### 男性用トイレへの サンタリーボックス設置 について伺う

質 問

前立腺がんや前立腺肥大などの病気が原因で尿漏れパッドを使用している方たちを中心に男性用個室トイレへのサンタリーボックス設置を求める声があるが、本市施設の設置状況や市の見解を伺う。

答 弁(行政経営部長)

市民利用の多い施設等を中心に、順次設置に努めていきます。

設置状況について、今回調査をしたところ、高齢者福祉センター、川上澄生美術館においては5年前に設置され、市民利用の多い、まちの駅新・鹿沼宿では今年の8月頃に設置されました。続い

て、市民情報センター、市民文化センター、TKCいちごアリーナ、高齢者・障害者トレーニングセンター(なごみ館)、千寿荘、消防本部、北犬飼及び栗野コミュニティセンター、図書館各館においても設置がされています。また、新庁舎では12月1日に設置をしました。多様性を尊重する社会の実現や、尿漏れ用パッドなどを使用されている方が安心して外出できる環境整備を進めていく必要があることから、今後ますます必要性が高まるものと考えています。現時点で、未設置の施設についても、市民利用の多い施設等を中心に、順次設置に努めていきたいと考えています。



#### ◆その他の質問事項

- 健康増進のまちづくりについて
- 横断歩道の歩行者優先徹底について
- 脱炭素型のライフスタイルへの転換について
- いじめ相談にSNSを活用することについて



一般質問の  
動画はこちら

## 鈴木 紹平 議員



### 旧栗野中学校について伺う

質 問

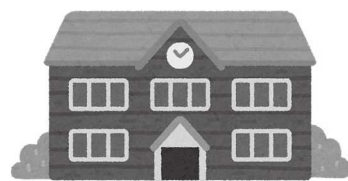
旧栗野中学校の利活用について、住民の思い入れを受けて存置を決定した校舎であることから更なる利活用が望まれますが、今後の旧栗野中学校の有効な活用とその課題について伺います。

答 弁(市長)

地域が主体となった活動を支援できるよう、早期に着手したいと考えています。

今後の旧栗野中学校の有効な活用と課題について、映画やドラマのロケ素材としての活用を継続していくことに加え、文化・芸術活動の拠点としても活用することにより、学校全体のさらなる活用を

図っていきます。そのためには、「あわの夢咲くアート・フェスティバル」のような地域の活動が重要であり、その活動が生み出す幅広い交流の輪が、この旧栗野中学校から市内外に広がり、さらには、新たな価値の創造や、文化芸術の発信拠点となることを目指していきます。今後、文化・芸術活動と地域をつなぐ人材の確保や、活動を行うために必要な修繕等について検討し、地域が主体となった活動を支援できるよう、早期に着手したいと考えています。



#### ◆その他の質問事項

- 育児休業制度および育児休暇制度について
- 公共交通について



一般質問の  
動画はこちら

佐藤 誠 議員



宇都宮ライトレールと鹿沼市について伺う

質問

宇都宮ライトレールのJR宇都宮駅西側の早期実現と大谷地区までの延伸構想に対し鹿沼市としても積極的に関わり、松原団地を経由してのJR日光線への接続や、新駅設置という長期的な鹿沼の発展の可能性を追究していくべきである。

答 弁(総合政策部長)

今後も引き続き、情報収集に努め、必要に応じて調査なども実施していきます。

ライトレールは、「次世代型路面電車システム」として、JR宇都宮駅東口から芳賀・高根沢工業団地まで計画されており、JR宇都宮駅西側についても大谷観光



一般質問の  
動画はこちら

市田 登 議員



鹿沼市の行財政運営について伺う

質問

9月議会の健全化判断比率の報告では、指標が健全である旨の報告がされているが、その状況から、令和5年度の予算編成に向けて、投資的経費を重点的に配分することが可能と思われる。市の考えを伺う。

答 弁(市長)

税収入につながる事業や本市に人を呼び込む事業への投資についても、積極的に進めていきたい。

令和5年度予算編成における投資的経費の考え方について、経常収支比率等の財政指標の改善は、コロナ禍における国の財政対策等を背景とした全国共通の

一時的な状況と認識しています。しかし、公共施設の老朽化対策や未来に向けた投資が必要であることは言うまでもなく、令和5年度においては、新庁舎整備事業が完了するものの、ほかの大型公共事業が本格化することから、投資的経費は前年に引き続き、高い水準で推移するものと見込んでいます。市民生活に影響を及ぼさないように、学校、道路等の社会資本の整備を進めるとともに、鹿沼インター産業団地整備や水源地域振興拠点施設整備等の税収入につながる事業や本市に人を呼び込む事業への投資についても、積極的に進めていきたいと考えています。

地付近までの延伸が検討されている状況です。大谷観光地付近までの延伸については、現在検討を進められている段階で、具体化も不明確な状況にあるので、本市として具体的な影響を検証したわけではありませんが、重複するバス路線の再考・再編が必要になる一方で、自動車の渋滞回避や公共交通の乗り継ぎ回数の縮減など、効率的な移動が可能になることが想定されます。そのほか、観光面での影響として、本市内への誘客の増加も期待できます。今後も引き続き、情報収集に努め、必要に応じて調査なども実施していきます。



◆その他の質問事項

- 水源地域整備事業について
- 市内小中学校に於ける帰国・外国人児童生徒の支援について
- 自治会について



◆その他の質問事項

- みんなによるこぼれる喫煙環境の実現について
- いちご市宣言について
- サンエコ自然の森サッカー場の人工芝の張り替えについて
- 鹿沼市は宇都宮のベッドタウンであるか否かについて

## 賛否の分かれた議案等

### 陳情7 学校・幼稚園・保育園における子どもの健全な育成を求める陳情書(運動時、登下校におけるマスク非着用の徹底と周知)

体育の時間等運動時のマスク非着用を徹底し、登下校中においてもマスク非着用を推奨することを学校に通知するとともに、地域住民にも周知を行うことを求めるものです。

**賛成**  
【経世会】鈴木紹平・小島 実  
【政新クラブ】藤田義昭・加藤美智子  
【公明党】梶原 隆・鈴木敏雄  
【親悠会】市田 登・谷中恵子・横尾武男・関口正一  
【自由民主党】宇賀神敏・津久井健吉・増淵靖弘  
【自民党希望】橋本 修・鈴木 毅・佐藤 誠・鰐原一男

**反対**  
【経世会】大貫桂一・館野裕昭  
【立憲民主党】大貫 毅



**討 論** ※この陳情について、討論が行われました。

#### 反対討論 大貫 毅 議員

マスク着用や黙食の是非についての判断を、こうした議会の場で行なうべきなのか疑問があります。マスクについては、感染予防の効果は無いとする意見もありますが、様々な研究において、一定程度の予防効果があることが明らかになっています。また、現在、感染症法の分類が2類相当から5類に引き下げることが検討されていますが、まだ結論が出されておられません。従って、陳情人の心情は十分に察しますが、現時点においては、専門家が示した方針に基づき、当事者である学校、生徒、保護者間で十分な意思疎通を図り対応していくべきです。

#### 賛成討論 佐藤 誠 議員

日本社会が同調圧力に覆われ本音を言いにくい状況下、実名で陳情を提出された方々の勇気に応えるべく我々自由民主党は何度も議論を重ね、陳情7号から10号まで全員一致して賛成する。我々は専門家ではなく、感染拡大の初期の対応は是認されたし、今でも心からコロナウィルスを恐れる方もいるが、自殺や鬱病の増加で苦しんでいる方がいるのも事実であり、マスクの強制やこれ以上の社会活動の制限に疑問を感じ苦しんでいる方々がいるのも真実なら、今は出口を模索するべく民主主義の原則に立ち返り、地方からこそ声をあげていくべきである。

陳情

### 陳情8 学校・幼稚園・保育園における子どもの健全な育成を求める陳情書(学校、及び幼稚園、保育園での黙食の緩和) 学校及び幼稚園・保育園での黙食の緩和をすることを求めるものです。

**賛成**  
【経世会】鈴木紹平・小島 実  
【政新クラブ】藤田義昭・加藤美智子  
【公明党】梶原 隆・鈴木敏雄  
【親悠会】市田 登・谷中恵子・横尾武男・関口正一  
【自由民主党】宇賀神敏・津久井健吉・増淵靖弘  
【自民党希望】橋本 修・鈴木 毅・佐藤 誠・鰐原一男

**反対**  
【経世会】大貫桂一・館野裕昭  
【立憲民主党】大貫 毅



### 陳情9 学校・幼稚園・保育園における子どもの健全な育成を求める陳情書(学校及び、幼稚園、保育園生活でのマスク着用の強制をしないこと)

風邪の症状等がない場合の学校及び幼稚園・保育園生活でのマスク着用そのものを強制しないことを求めるものです。

**賛成**  
【自由民主党】宇賀神敏・津久井健吉・増淵靖弘  
【自民党希望】橋本 修・鈴木 毅・佐藤 誠・鰐原一男

**反対**  
【経世会】鈴木紹平・大貫桂一・館野裕昭・小島 実  
【政新クラブ】藤田義昭・加藤美智子  
【公明党】梶原 隆・鈴木敏雄  
【親悠会】市田 登・谷中恵子・横尾武男・関口正一  
【立憲民主党】大貫 毅



陳情10 学校・幼稚園・保育園における子どもの健全な成長、発達を求める陳情書

様々な問題によりマスクを着用できない子供がいること、常時マスクを着用することに対し不調を感じ生活に支障をきたしている子供がいることを周知し、差別や圧力が生じないよう指導すること等を求めるものです。

賛成 【公明党】 梶原 隆・鈴木敏雄  
【自由民主党】 宇賀神敏・津久井健吉・増淵靖弘  
【自民党希望】 橋本 修・鈴木 毅・佐藤 誠・鰐原一男

反対 【経世会】 鈴木紹平・大貫桂一・館野裕昭・小島 実  
【政新クラブ】 藤田義昭・加藤美智子  
【親悠会】 市田 登・谷中恵子・横尾武男・関口正一  
【立憲民主党】 大貫 毅



討論 ※この陳情について、討論が行われました。

賛成討論 佐藤 誠 議員

通学時のマスクの着用は法律でも必要でもないんだという事を周知していこうという陳情7号と、学校等での給食での黙食を緩和していこうという陳情8号に賛成に多くの議員がご賛同いただいたにも関わらず、陳情第9号に一転して反対された議員に対して、いくばくかの疑問と憤りを感じる。9号に反対していた議員の中には、コロナの差別を無くそうという活動をアピールされている方もいたし、子どもは宝なのだからせめてコロナウィルスに対する対応で差別や圧力が生じないよう指導していこうという10号の理念には賛成を求めたい。

陳情

陳情11 栃木特別支援学校寄宿舎の存続に関する意見書の提出を求める陳情書

県へ意見書を提出することを求めるものです。

継続審査と賛成 【経世会】 鈴木紹平・小島 実  
【政新クラブ】 藤田義昭・加藤美智子  
【公明党】 梶原 隆・鈴木敏雄  
【親悠会】 市田 登・谷中恵子・横尾武男・関口正一  
【自由民主党】 宇賀神敏・津久井健吉・増淵靖弘  
【自民党希望】 橋本 修・鈴木 毅・佐藤 誠・鰐原一男

継続審査と反対 【経世会】 大貫桂一・館野裕昭  
【立憲民主党】 大貫 毅



討論 ※この陳情を継続審査とすることについて、討論が行われました。

反対討論 大貫 毅 議員

県は今年度末で特別支援学校寄宿舎を閉舎するとの方針でしたが、今年度末での閉舎は延期するとの方針変更を行いません。しかし、閉舎するとの基本方針には変更が無いようです。通学困難者のためにスタートした寄宿舎ですが、家族からは寄宿舎での集団生活が、こどもの発達に素晴らしい効果があると新たな価値が指摘されています。県において、存続を求める保護者の意見を十分に聴取し、寄宿舎の新たな価値も含めて今後のあり方を議論すべきです。そのためにも、継続協議とするのではなく、県での議論を促すためにも採択すべきです。

議員案11 佐藤信鹿沼市長に対する問責決議について

提案理由 鰐原一男 議員

佐藤信鹿沼市長は、決算特別委員会において会議規則を十分承知せぬまま議会を痛烈に批判し、その後本会議において発言の訂正と謝罪をした。訂正の際にも、不適切な発言を繰り返す様は、議会との信頼関係の重要性を失墜させており、市民を惑わし、市長としての品位が問われる。市長には、過度に委員会に直接介入し、言論の府である議会の役割に影響を及ぼし、ひいては議会活動を委縮させ、民主主義をおびやかす、度重なる異常な発言を控えるように強く求め、市長に猛省を促し、市政の最高責任者としての責任を問い、問責決議を提案する。

議員案

賛成 【自由民主党】 宇賀神敏・津久井健吉・増淵靖弘  
【自民党希望】 橋本 修・鈴木 毅・佐藤 誠・鰐原一男

反対 【経世会】 鈴木紹平・大貫桂一・館野裕昭・小島 実  
【政新クラブ】 藤田義昭・加藤美智子  
【親悠会】 市田 登・谷中恵子・横尾武男・関口正一  
【立憲民主党】 大貫 毅



棄権 【公明党】 梶原 隆・鈴木敏雄

## 討 論

※議員案11について、討論が行われました。

### 賛成討論 鈴木 毅 議員

本会議の発言は、原則通告制がとられています。一方、委員会は原則通告なしで、自由に質疑及び発言を述べることができます。このことは全議員が承知し、会議に出席している市の職員は、当然承知していることです。佐藤信鹿沼市長は、通告なしの委員の発言を痛烈に批判しましたが、このことを十分承知していなかった、として謝罪しました。しかし、大島議長に本会議における発言の取扱いに準じて、委員会も事前の発言通告の提出の徹底を要求しています。真に反省のない佐藤信鹿沼市長に対する問責決議に賛成致します。

### 賛成討論 佐藤 誠 議員

鯉原議員に議会運営の意見を問われるも、佐藤市長は議会のことには関知しないと回答を避ける一方、後に訂正された間違った知識で、議会に対して抗議や要求をされるという二重規範や、特定の議員と会派を揶揄するような言動が目には余ようになってきた。佐藤市長の人間性を否定するものではなく、その4期16年の任期の一定の功績を評価もするが、本市発展のために我々議会人は様々な視点から厳しい指摘が今こそ必要な状況下、議会への過度な干渉や印象操作で議員が萎縮し自由闊達な議論が阻害されている。佐藤市長に抑制的な言動を求める。

議員案

## 全議員が賛成した議案等

### 議案108 人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員(候補者)※敬称略

はやかわ あやこ  
早川 綾子(上久我)



### 用語解説「人権擁護委員」

人権擁護委員法に基づいて、各市町村に設置される非常勤職で、法務大臣が委嘱する民間のボランティア。日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していく活動をしている。議会の意見を聞いて、市長が法務大臣に対し候補者を推薦する。任期は3年。

人事

専決処分事項

### 令和4年度補正予算

#### 議案88 令和4年度鹿沼市一般会計補正予算(第6号)について

歳入については、国県支出金の増額を計上し、歳出については、物価高騰緊急支援給付金給付事業費、物価高騰市民生活支援事業費、予防接種費等の増減額を計上したもので、この補正額を12億4,496万9,000円の増とし、予算総額を453億6,353万2,000円とするものです。

#### 議案89 令和4年度鹿沼市一般会計補正予算(第7号)について

歳入については、市税、地方交付税、市債等の増減額を計上し、歳出については、一般管理関係職員給与費、通信システム費、小学校管理費等の増減額を計上したもので、この補正額を4億9,026万5,000円の増とし、予算総額を458億5,379万7,000円とするものです。

#### 議案90 令和4年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費特別会計補正予算(第2号)について

歳入については、繰入金金の増額を計上し、歳出については、公設地方卸売市場運営協議会委員報酬及び公設地方卸売市場施設維持管理費の増額を計上したもので、この補正額を105万6,000円の増とし、予算総額を1,385万6,000円とするものです。

#### 議案91 令和4年度鹿沼市水道事業会計補正予算(第2号)について

収益的支出において、支出総額を4,667万5,000円増額補正するものです。

令和4年度補正予算

補正予算

#### 議案92 令和4年度鹿沼市下水道事業会計補正予算(第2号)について

収益的支出において、支出総額を4,237万1,000円増額補正するものです。

計画の変更

#### 議案93 辺地に係る総合整備計画の変更について

令和4年3月22日第17号議案として議決を得た西大芦辺地に係る総合整備計画について、辺地における計画事業を変更するためのものです。

指定管理者

#### 議案94 指定管理者の指定について

リサイクルセンターの指定管理者として、特定非営利活動法人ぶうめらんを指定するためのものです。

#### 議案95 指定管理者の指定について

高齢者福祉センターの指定管理者として、社会福祉法人鹿沼市社会福祉協議会を指定するためのものです。

その他

#### 議案96 字の廃止並びに町及び字の区域の変更について

県営笹原田地区土地改良事業施行の結果、事業実施後の土地等の現況に符合しない町及び字の区域が生じたため、事業区域内の字を廃止するとともに、町及び字の区域を変更するためのものです。

市道路線

#### 議案97 市道路線の認定について

千渡地内における主要地方道宇都宮鹿沼線の整備に伴い、新たに築造される道路を市道として認定するためのものです。

#### 議案98 市道路線の変更について

中粕尾地内における主要地方道鹿沼足尾線及び上野町地内における市道3044号線の整備に伴い、関係する市道の起点及び終点を変更するためのものです。

- 議案99 鹿沼市議会議員及び鹿沼市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例及び鹿沼市議会議員及び鹿沼市長の選挙におけるピラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について  
公職選挙法施行令の一部改正に伴う国政選挙の取扱いに準じて、選挙運動用の自動車の使用並びにポスター及びピラの作成に係る公費負担の額を引き上げるためのものです。
- 議案100 鹿沼市コミュニティセンター条例等の一部改正について  
西大芦コミュニティセンターの改築に伴い、位置の変更及び使用料の改定を行うためのものです。
- 議案101 鹿沼市職員の定年延長に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について  
地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年を、段階的に60歳から65歳まで延長するとともに、管理監督職勤務上限年齢制及び定年前再任用短時間勤務制の導入等を行うためのものです。
- 議案102 鹿沼市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について  
農地利用最適化推進委員の報酬の額を引き上げるとともに、新たに設置する休日夜間急患診療所医師の報酬の額を定めるためのものです。
- 議案103 鹿沼市学校給食共同調理場条例の一部改正について  
北犬飼地区に津田小学校北犬飼地区学校給食共同調理場を設置するためのものです。
- 議案104 鹿沼市子ども医療費助成に関する条例の一部改正について  
子ども医療費助成の対象年齢を、中学3年生から高校3年生相当年齢まで引き上げるためのものです。
- 議案105 鹿沼市農業委員会委員及び推進委員の定数を定める条例の一部改正について  
農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数を見直すためのものです。
- 議案106 鹿沼市職業訓練センター条例の一部改正について  
令和4年12月をもって、第5研修室を廃止するためのものです。
- 議案107 鹿沼市市営若年勤労者用住宅条例の一部改正について  
市営若年勤労者用住宅における入居者の資格要件及び入居期間の制限を緩和するためのものです。

- 議案109 令和4年度鹿沼市一般会計補正予算(第8号)について  
歳入については、国県支出金の増額を計上し、歳出については、バス路線対策費、出産・子育て応援事業費等の増減額を計上したもので、この補正額を6,699万3,000円の増とし、予算総額を459億2,079万円とするものです。
- 議案110 鹿沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について  
人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員の期末手当の額を引き上げるためのものです。
- 議案111 鹿沼市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について  
人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市長、副市長及び教育長の期末手当の額を引き上げるためのものです。
- 議案112 鹿沼市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について  
人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、一般職の職員の勤勉手当の額及び若年層の職員の給料表を引き上げるためのものです。
- 議員案10 帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について

**提案理由** 梶原 隆 議員

帯状疱疹は、日本人では50歳代から発症率が高く、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもあります。この帯状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされていますが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくありません。そのため、多くの市民の方々から、帯状疱疹ワクチンへの助成について要望があがりまして、帯状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を、国に要望するため意見書の提出を提案しました。(議員案10については、裏表紙をご覧ください。)



**全議員が反対した議案等**

- 陳情12 民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情  
市及び議会に対し、特定の宗教法人及びその関連団体との関係を遮断する内容の宣言・決議をしないこと等を求めるものです。



# 議会からのお知らせ

## 意見書を提出しました。

厚生労働大臣、及び財務大臣宛てに意見書を提出しました。

### ■議員案第10号 帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について

#### 帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

帯状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する帯状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この帯状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

帯状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「帯状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるともいわれている。

そこで政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、帯状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

## 定例会の日程

### 令和5年第1回定例会（予定）

月	日	曜	内容
2	14	火	議会運営委員会
	21	火	本会議（第1日） 提出議案の説明
3	8	水	議会運営委員会 本会議（第2日） 議案質疑・一般質問
	9	木	本会議（第3日） 議案質疑・一般質問
	10	金	本会議（第4日） 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託
	14	火	総務常任委員会
	15	水	教育福祉常任委員会
	16	木	産業建設常任委員会
	20	月	議会運営委員会 本会議（第5日） 採決

### 令和5年第2回定例会（予定）

月	日	曜	内容
5	17	水	議会運営委員会
	24	水	本会議（第1日） 提出議案の説明
6	7	水	議会運営委員会 本会議（第2日） 議案質疑・一般質問
	8	木	本会議（第3日） 議案質疑・一般質問
	9	金	本会議（第4日） 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託
	13	火	総務常任委員会
	14	水	教育福祉常任委員会
	15	木	産業建設常任委員会
	19	月	議会運営委員会 本会議（第5日） 採決

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページをご覧ください。また、または議会事務局までお問い合わせください。（電話 63-2203）

## 題字の揮ごうについて

今号は、鹿沼商工高等学校3年生の渡部真生さんに揮ごうして頂きました。



今回、広報誌の題字を書かせていただく機会を得て、これまで学んだ書道の技術を生かして自分なりに字を工夫し、楽しく書くことができました。

## 表紙の写真は

昨年の11月に、5つの地区で議会報告会・意見交換会を、4つの高校で高校生との意見交換会を開催しました。頂いた貴重なご意見の一部を今号の記事でご紹介しています。